

どんな記念日にも誕生した理由があります。例えば、5月第2日曜は 32  
母の日です。これは20世紀初頭にアメリカ東海岸の小さな町に住んで 64  
いた一人の女性の行動から生まれたものです。ある婦人は、苦勞しながら 97  
二人の女の子を育てたあとに、亡くなってしまいます。成人していた娘 129  
は、母が勤めていた日曜学校で追悼集会を開きました。そこには多くの 161  
人が集いましたが、そのとき、娘は母親に対する感謝の気持ちを何とか 193  
表現したいと考えるようになりました。1908年に母の日を企画した 225  
ところ、予想以上に評判を呼びました。このとき、母に手向けたのが、純 258  
白のカーネーションだったのです。その後の合衆国連邦会議で国家行事 290  
として可決し、その後、世界じゅうで母の日が制定され、カーネーショ 322  
ンを贈る習慣が根づいていきました。日本でも毎年5月になると、花屋さ 355  
んの店先にずらりと並んでいます。 372

そして父の日が制定されたのも、やはりアメリカでした。なんと6人もの 406  
兄弟をりっぱに育て上げた一人の男性に感謝したいと、その家族と親交 438  
のあった婦人が提唱しました。それが広まっていき、やがて記念日になっ 471  
たというわけです。6月第3日曜は父の日として制定されることになりまし 505  
た。そして、その女性が自分の父親に感謝の気持ちを込めて墓前に白い 537  
ばらを供えたことから、お父さんの日にはばらを贈るという習慣が始まった 571  
のだとか。ばらの花そのものに深い意味はないようですが、やはり花の中 604  
で最も高貴で威厳のある花という印象から、父親のイメージと重なって選 637  
ばれたのでしょうか。なぜか、父に贈るばらの花は、あまり知られることが 671  
なく浸透していきませんでした。日本では、ネクタイや時計など、身につ 704  
ける物を贈ることが多いようです。 720